

「らしさ」輝く附属小



第12号 令和8年 6月19日(金) 校長 森内 秀学

掲示物がもつ力

本校の職員が、掲示物にも力を入れているのは御存じのとおりです。よりよい掲示物は、よりよい環境を作り出します。下は、5年生の掲示板。ただで、構想とレイアウトと作成に、相当の時間をかけていることが分かります。



まずは左。写真を基に、子どものがんばりを価値づけています。先生たちは、どんな姿をよいと思っているのか、どの方向に育てほしいと願っているのかが伝わってきます。

そして右。学校教育目標である、自己実現に向けた「自己選択」の場面を、昼休みの遊びの場面でも作ろうという仕掛けです。これなら、学級の枠を超えて子どもの動向を把握できますし、子どもも、自分がやりたい遊びができます。

この掲示の秀逸なところは、動かす掲示（右）のそばに、価値づける掲示（左）を貼っているところです。子どもは、ネームプレートを動かしに行くたびに、がんばりが価値づけられた掲示を目にします。すると、載っている人はなおさらがんばろうと思うでしょうし、載っていない人は載せられるようがんばろうと思うでしょう。こうして、掲示によって感化された子どもたちは、共通した「よいもの」を目指して進んでいきます。

貼りっぱなしの掲示は、しばらくすると風景になります。見てほしい人に何度も見てもらい、行動につなげさせるためにはどうすればよいのか…。この掲示には、伝えたい人に伝えたいことをしっかり伝えるための、大事なヒントが隠されているように思います。